

# 後輩へのメッセージ

## SDGs 世代に贈る！ 「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン

本科目は、週1コマで設定されている科目です。しかし、授業時間外にフィールドワークに出向いたり、集まってプロジェクトについて話し合ったりと、時間と労力を使って取り組まなければならないことも多くあります。つまり、決して楽な科目ではないということです。それでも、私は本科目を受講してよかったと思っています。なぜなら、座っているだけでは経験できないようなことを、たくさん経験できたからです。

本科目を受講を迷っている方、また本科目への挑戦を決意した方へ。自分が興味を持っていることを大切に、一歩踏み出してみてください。一年後、きっと想像もしなかった経験を手にしていると思います。

## 留学生と創る！京の台所錦市場（食文化） マイクロツーリズム読本

このプロジェクト科目は個人、チーム共に成長出来る貴重な場所です。この科目は学部、学年を問わず参加でき、一人一人の学生が異なるバックグラウンドを持つ中でお互いに意見を出し合いながら、1年間にわたってプロジェクトを進めていきます。その中で時には衝突をしながらメンバー全員が一つの目的に向かって一致団結し、本気で取り組んだことはこれからの学生生活、卒業後の人生の糧になることは間違いありません。

またこのプロジェクト科目は私たち学生が社会に触れ、成長できる素晴らしい場所でもあります。1年間を通して、沢山の取材先へのインタビュー、アポ取りなど普通の講義ではできないことをたくさん体験してきました。これらの経験を通して、社会人としての基礎を学ぶことができます。

これらの他にもこの科目では多くの“成長”を感じることができます。何かに挑戦したい、成長したいと感じている学生はぜひプロジェクト科目を受講してみてください。

## 京都の伝統織物ができるまで —オンライン体験を考える—

後輩へのアドバイスとして伝えられることは、人とコミュニケーションを取ることです。プロジェクト科目は、チームのみんなとプロジェクトを企画し、実行して行きます。一般的な先生からの受け身の講義ではなく、学生が100%主体となって動くのが大きな特徴でもあり、またやりがいでもあります。それに加えて、春秋連続科目であることからチームメンバーとは1年間関わっていくこととなります。そうした中で、メンバーとコミュニケーションが取れないとプロジェクト科目として成り立たせることが出来ません。特に、私たちが所属するテーマでは取材や体験などを必要とするため、メンバーだけでなく取材先の職人さんとの意思疎通も必須となります。誰でも最初は人と話すことに緊張すると思います。ですが、この科目を終える頃には沢山の人脉や思い出を作ることができます。だからこそ、思い切って自分から言葉を発してみてください。いっぱい喋って、行動して、仲間と一緒に最高のプロジェクトを企画してみてください！

## 京都・伏見で酒ツーリズムのしくみをつくる

今年度で4年目を迎える本プロジェクトの最大の課題は、過去の先輩方が築いてこられた成果や反省を十分に受け継ぐことが出来ていない点だと私たちは考えしてきました。そのため、過去の受講生の方の取り組みを春学期の早い段階で十分に把握することが非常に重要であると思います。またこのプロジェクトの大きな軸でもありやりがいにはツアーを作ることです。しかしながらツアーを作ることのみならず、作り上げたオリジナリティ溢れるツアーを「形」としていかに伏見の街に残すことができるのか、こうした点まで今後の受講生の方には余裕を持って取り組んで頂ければ、本プロジェクトはより意味を持つものになると思います。フィールドワークやインタビュー、資料の作成など多忙な時期もあるかと思いますが、何より楽しむことを忘れずに頑張ってください！

## クリエイティブな映像制作で インターネットの安心安全を守る！

この文章を読んでいるあなた、ラッキーです。今、あなたの夢を叶える、もしくは新たな人生を始めることができるチャンスを掴みかけています。しかし、残念なお知らせです。プロジェクト科目は、その夢を叶えるための一歩にしかありません。私も今、たったの一歩だけ踏み出しました。そして、少し周りを見てみると気づいたんです。

「一歩も踏み出せていない人って多いんですよ」

みんな、その一歩を踏み出すチャンスを探しているんです。でも、そんな高価なもの、のうのと生きてるだけじゃ転がってきません。あなたは、そのチャンスを求めて、この文章を読んでいるんじゃないですか？

プロジェクト科目を受ければ、その意味がわかると思います。

## 京丹後移住促進プロジェクト ～新たな地方移住の仕組みづくり～

このプロジェクトは、他のプロジェクトに比べ、「移住促進」という成果が目に見えにくい講座でもあります。地域の人々と密接に関わるが故の苦労もたくさんありました。しかし、10年後20年後の地域を見据えたまちづくりの過程に貢献することができずごく嬉しいです。

またチーム活動だからこそ、乗り越えることができたことも多いです。皆それぞれ学部や得意なことは異なります。お互いができないことを補いながら一つのゴールを達成することの楽しさに気づきました。

何よりも1番の魅力は、やはり現地に足を運ぶことだと思います。実際に間人を見て感じて、地域の方々とたくさんお話をする中で、よりよい地域になってほしい、といっそう思うようになりました。

このプロジェクトには自然、人、まちづくりなどの魅力が詰まっています。そんなプロジェクトの中で自分の可能性を広げたい、短い大学生活の中で充実した経験を得たい！そう思った方はぜひ受講してみてください。

## 伝統を未来へつなぐために 古典籍の魅力を子どもたちへ

---

「伝統を未来へつなぐために古典籍の魅力を子どもたちへ」のクラス代表を務めました渡邊と申します。私たちのプロジェクトでは、日本に古くから伝わる書物である“古典籍”の存在を、子供たちを中心により多くの人々に知ってもらうことを目的に活動してきました。とはいえ、人文科学系の活動であり、なかなか社会学系や理系のプロジェクトほど目に見える成果を出すことが難しい一面もありました。どうしたら、日本の古典籍の素晴らしさや重要性を人々に知ってもらえるか、メンバー同士で何度も話し合い、試行錯誤を繰り返してきました。プロジェクト科目を通して“協調性”を培うことができたと思います。楽しいことばかりではなく、辛いこともいっぱいですが、かけがえのない経験となるはずです。

## 未来につなぐ！ 世界と日本の着物絵本制作プロジェクト

---

プロジェクト科目は自分達で意見を出し合い、自らが率先して行動することで進んでいく科目です。実際私たちは、予定通りに計画が進まなかったり、アイデアが浮かばなかったりと苦戦し、スムーズにはいきませんでした。しかし、その困難を乗り越えて得られるものは大きいです。社会勉強や、メンバーとのコミュニケーションの取り方や、大人の方々との交渉を学生のうちに行うことはとても貴重な経験になると思います。迷ったり行き詰まったりした時は、自分達が何を伝えたいのかを一度よく考えて、順序立てて物事を進めていけば必ず結果はついてくると思います。また、1人で背負い込まず、チーム皆で頑張ってください。皆様のプロジェクトを応援しています。